福井市行財政改革指針（令和9～13年度）（素案）【概要版】

1 策定方針

北陸新幹線福井開業効果の維持・広域化や、令和11年（2029年）春に予定されている中部縦貫自動車道県内区間全線開通効果の最大化、さらには急速に進む少子高齢化・人口減少社会への対応など、本市を取り巻く様々な環境の変化に伴う行政需要に的確に対応し、第九次福井市総合計画を着実に推進するための行財政改革の取組として策定します。

2 取組期間

令和9年度（2027年度）から13年度（2031年度）までの5年間

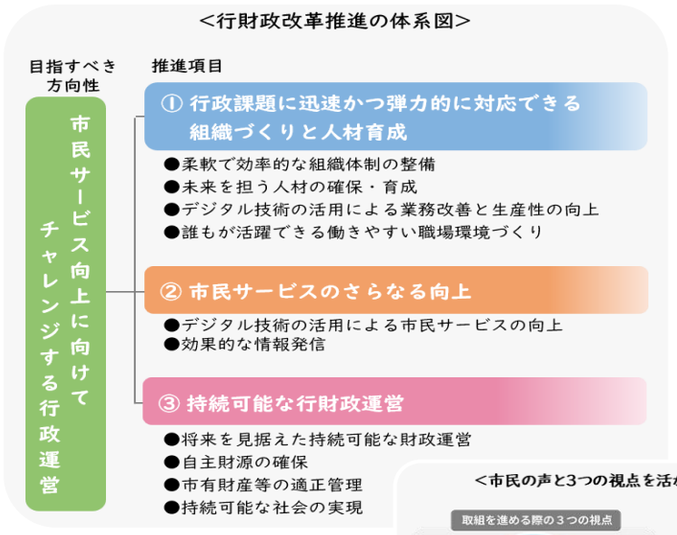
3 今後の行財政改革の方向性

総合計画に掲げる将来都市像「彩り豊かな想いかがやく、未来ひらくまち。ふくい～さあ、楽しもう！チャレンジする毎日を！～」の実現に向け、行政課題に迅速かつ弾力的に対応できる組織づくりと人材育成、市民サービスのさらなる向上、持続可能な行財政運営の3つを柱として、これまで以上に市民の意見を大切にしながら、**「市民サービス向上に向けてチャレンジする行政運営」**を進めていきます。

取組を進める際には、「人材の活躍促進」「デジタル技術の活用」「共創」の3つの視点を意識し、従来の考え方にとらわれず柔軟な発想を取り入れながら、行政運営を不断に見直していきます。

なお、本指針の策定にあたっては、市民や職員を対象とした意見募集を初めて行い、20代から60代までの幅広い世代の方々から、361件のご意見をいただきました。市民目線に立った行政運営の推進に向けて、いただいた声や考え方を指針に取り入れました。

<行財政改革推進の体系図>



<市民の声と3つの視点を活かした行財政改革の推進イメージ>



4 取組等一覧

3つの視点で取組事項を分類　人材の活躍促進 活躍　デジタル技術の活用 デジ　共創 共創

推進項目	No.	取組事項	
①行政課題に迅速かつ弾力的に対応できる組織づくりと人材育成		**●柔軟で効率的な組織体制の整備**	
	1	適正な職員数の管理	活躍
	2	多様な行政課題に対応できる組織体制の構築	活躍
	3	適材適所の人材配置	活躍
		●未来を担う人材の確保・育成	
	4	戦略的な人材の確保	活躍
	5	時代の変化に対応できる職員の育成	活躍
	6	技術系職員のスキル向上とノウハウ継承	活躍
	7	職員の施策立案能力の向上	活躍
	8	新 ナッジ理論を活用した施策展開の推進	活躍
	9	職員の財務事務能力の向上	活躍
	10	情報セキュリティ対策の徹底	デジ
		●デジタル技術の活用による業務改善と生産性の向上	
	11	新 生成AIの活用	デジ
	12	RPA及びAI議事録作成支援システムの活用	デジ
	13	遠隔臨場等の活用	デジ
		●誰もが活躍できる働きやすい職場環境づくり	
	14	ワーク・ライフ・バランスの充実	活躍
	15	女性職員のキャリア形成の促進	活躍
	16	新 ハラスメント対策の強化	活躍
	17	新 庁内コミュニケーションの推進	活躍
②市民サービスのさらなる向上		**●デジタル技術の活用による市民サービスの向上**	
	18	新 新しい時代の窓口の推進	デジ
	19	新 公共施設の利便性向上	デジ
		●効果的な情報発信	
	20	「伝わる広報」を意識した情報発信の充実	活躍
③持続可能な行財政運営		**●将来を見据えた持続可能な財政運営**	
	21	目指すべき財政水準の達成	活躍
	22	給与水準の適正化	活躍
	23	安全で効果的な資金管理の推進	活躍
	24	新 公金収納・支払事務の効率化の推進	活躍
	25	水道・下水道事業の経営健全化	活躍
		●自主財源の確保	
	26	クラウドファンディングの活用推進等	共創
	27	市有財産を活用した広告事業の拡充	共創
	28	ふるさと納税制度の戦略的な普及拡大	共創
	29	市税収納率の維持・向上	活躍
		●市有財産等の適正管理	
	30	施設マネジメントの推進	共創
	31	低未利用財産等の適正管理	共創
	32	新 公共インフラ施設の効率的な維持管理	デジ
		●持続可能な社会の実現	
	33	新 市民の声を大切にする行政運営	共創
	34	新 多様な主体との共創の促進	共創
	35	SDGsの推進	共創